

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (S53.4.25)		
指定管理者名	東高根森林公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>・利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。</p> <p>・公園資源の積極的な活用と地域との連携によるイベントなどの利用促進が図られており、利用状況及び満足度も最高評価となっている。収支についてはB評価となっているが、収支差額は昨年度よりも小さくなっており、運営努力が見受けられた。今後、風致公園として管理と保全のバランスを考えた植物管理を実行すると共に管理方針を積極的に情報発信するなどの取り組みに期待したい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況</p> <p>・提案に基づいて年間120回以上のイベントを実施。今後は、作成した「公園憲章」をもとに管理運営に対して公園利用者や周辺住民等との合意形成についても進めてほしい。</p> <p>◆利用状況</p> <p>・降雨による大規模イベントの中止もあり、利用状況は対前年度比99.6%となったが、閑散期対策として新たに縄文土器の展示会を行うといった取り組みにより、目標達成率は111.0%となり、S評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度</p> <p>・指定管理者による接客研修を全員受講するなどサービス向上に努めたことから、県が年間7回実施している調査では上位2段階の回答割合が95.5%となり昨年度より上昇しており、S評価となった。</p> <p>◆収支状況</p> <p>・支出実績は、78千円の赤字(収支比率99.86%)であるためB評価となっているが、利用促進事業による図鑑やグッズ販売、イベント実施時の参加料により不足分を補い、収支は均衡(100.7%)している。</p> <p>◆苦情・要望等</p> <p>・昨年度は公園利用者からはトイレ清掃の要望が多く見受けられたが、今年度はそのような要望がないように適切に美化管理されていた。特に大きな苦情はなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等</p> <p>・重大な事故は発生することがなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況</p> <p>・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他</p> <p>・以上を総合的に勘案し、令和元年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無し	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	毎月1～2回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多種多様な生物の有する豊かな生態系の保全・育成を行う。	湿生植物園のヘドロの浚渫やシラカシ林内の下草刈りを実施するなどし良好な環境を維持している。水流の多自然化を施工して、よりよい自然環境を創出している。	芝生管理についてよりよい管理（エアレーションや育成保護）に努め、裸地化範囲を回復することが望まれる。
公園の魅力(歴史・文化・自然)を教材とした学習の機会を創出する。	歴史・文化体験型は計27回、自然体験型は計28回実施している。特に自然体験型の田んぼの学校は好評を得ている。 縄文土器展示会を開催し、公園の特徴のPRに取組んだ。	シラカシの切り株展示や、縄文土器の展示会といった新しい展示の取り組みは評価できる。今後も、学習や体験の場をイベント時だけではなく、パークセンター内の常設展示や屋外展示を企画するなど、日常の公園利用者も意識した新たな取り組みが望まれる。
専門技術や知識を持つ方々と連携し、学習内容やプログラムを充実する。	外部講師やアマチュア団体等と連携した利用促進は61回実施している。	
地域に活動情報を計画的に提供するほか、地域活動に積極的に参加する。	小中学校の総合学習やインターンシップを実施。防災訓練や収穫祭、高齢者福祉施設との積極的な連携など世代間交流に対する取組を実施している。	インターンシップの受入人数は昨年度比3倍に増えており、地域連携に努めている。今後は、世代間交流の場としての取組の更なる工夫が望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
有料駐車場事業による利便性の向上、安全確保、緑化協力金の徴収を行う。	提案どおり実施している。
既存自動販売機の継続設置。	6台を継続。提案どおり実施している。
古代植物園内の万葉集に関連する植物を紹介するガイドブックを発刊する。	古代植物園フィールドガイドを作成し、来園者に配布した。
イベントでのオリジナルグッズの販売	イベント時に勾玉キットの販売などを実施。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	376,126	390,108	388,670
対前年度比		103.7%	99.6%
目標値	350,000	350,000	350,000
目標達成率	107.5%	111.5%	111.0%

目標値の設定根拠： 提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	46,169	0	8,944	駐車場6,460 自販機2,484	55,113	55,113	0	
	決算	46,169	0	8,601	駐車場5,933 自販機2,668	54,770	55,114	-344	99.38%
前年度	当初予算	46,169	0	9,160	駐車場6,291 自販機2,869	55,329	55,329	0	
	決算	46,169	0	8,403	駐車場5,800 自販機2,603	54,572	54,690	-118	99.78%
令和元年度	当初予算	47,024	0	8,497	駐車場6,078 自販機2,419	55,521	55,521	0	
	決算	47,024	0	7,954	駐車場5,504 自販機2,450	54,978	55,056	-78	99.86%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

利用促進事業として行った、図鑑やグッズの販売による収益：145.6千円、イベント参加料：327千円により、マイナスの収支：78千円を補っている。(収入：54,978千円+145.6千円+327千円/支出：55,056千円=100.7%)

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	アンケート	1 件	雨の日は雨具などを借りることが出来ると良い。	雨具の貸出については貸し出し用の傘を数本用意していることを説明。
	アンケート	1 件	駐車場内進行方法の表示をわかりやすくしてもらいたい。路面上にも表示をしてもらいたい。	ペンキで路面上の表示を実施して対応。
	アンケート	1 件	水のみ場が汚れている。	見回り及び清掃の回数を増やすことで改善。
	アンケート等	6 件	道路に面している高木の幹一部伐採と剪定要望あり。斜面の除草要望あり。	剪定、除草及び清掃を実施し対応。
職員対応	アンケート	1 件	毛虫が多い、駆除してもらいたい。	無毒の毛虫であり、時期的に減ってきていることを説明。今後も発生する場合は対策を検討することを説明。
	アンケート	1 件	利用者が作業車両に道をゆずってあげた。作業スタッフが車から降りて誘導してはどうか。	利用者に留意する旨を説明して対応。
事業内容	アンケート	2 件	スタンプラリーやフリーマーケットの日を増やしてほしい。子供向けの自然観察会がいろいろあるといい。	過去の参加状況を踏まえた開催日数であることを説明。
その他	アンケート	9 件		
	口頭	2 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R1. 6. 27	①ケヤキ広場のサークルベンチにおいて焦げ跡が確認された。 ②電話と写真にて状況を確認。油等で故意に燃やしたのではなく、花火の梱包などが燃えた様子。けが人等はなし。 ③夜間の5回の巡回と合わせて、宮前警察による巡回をお願いして再発防止に努める。 ④なし ⑤なし ⑥なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無し	
職員の配置体制	無し	
労働時間	無し	
職場環境	無し	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。